

作用素解析

- ややもすれば勉強（知識・計算技術・概念の修得を含む）だけで終わってしまいがちな数学の教程において、一服の清涼剤というか、はたまた煩悩の火種というか、そういったものを提供したいのであるが、多くは望まぬ、慢性的日常への刺激となれば幸い。
- 授業は、次の資料に基づいて進める。線型代数の本を常に参照できるようにしておくこと。

<http://www.math.nagoya-u.ac.jp/~yamagami/teaching/topics/oa2010.pdf>

- 授業は、2コマ続きなので、毎回、講義（9:00–10:15, 10:30–11:30）+ 問題演習（11:30–12:00）を標準とし、資料の中にある問題のうち指示されたものを解きレポートにまとめ、次回の演習時まで提出する。レポート用紙はA4を使用し、問題ごとに別の用紙を使用する。表紙はつけず、氏名・学生番号・問題番号の後は、直ちに解答に入ること。

各問題は、原則2点満点（一部の問題は、さらに加点する）で採点し、集計結果を随時掲示する。このパートでの評価は、次で算定する。総得点を x とするとき、

$$\begin{cases} D & \text{if } x \leq 7, \\ C & \text{if } 8 \leq x \leq 10, \\ B & \text{if } 11 \leq x \leq 13, \\ A & \text{if } x \geq 14. \end{cases}$$

同一と判断されるレポートが複数見つかった場合は、点数を人数で割る。したがって、仮に満点のレポートであっても3人以上で共有した場合は、0点となる。

- オフィスアワーは、水曜 12:30–13:30（理A349）。予約等は、yamagami@math.nagoya-u.ac.jp まで。

進度予定表

10/4	行列のノルムとスペクトル（2、3、9）
10/18	グラフと隣接行列とペロン・フロベニウス（13、14、17）
10/25	A型とD型のグラフ（19、20、21の中から2題）
11/1	E型のグラフ（22、23）
11/8	グラフの分類（演習なし）